

2024年6月18日

各位

会社名 株式会社カイオム・バイオサイエンス  
代表者名 代表取締役社長 小林 茂  
(コード：4583 東証グロース)  
問合せ先 取締役経営企画室長 美女平 在彦  
(TEL. 03-6383-3561)

## キッズウェル・バイオ株式会社とのバイオシミラー医薬品開発等に関する 業務提携のお知らせ

この度当社は、本日開催いたしました取締役会において、キッズウェル・バイオ株式会社（以下、KWB社）との間で、バイオシミラー医薬品開発等に関する業務提携基本合意書を本日付けで締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 本契約の概要

当社は当社のミッションである「医療のアンメットニーズに創薬の光を」当てるべく、がん治療用抗体CBA-1205やCBA-1535などの抗体医薬品の臨床開発を進めておりますが、この度、原薬や治験用製剤を開発するバイオCMC機能を中心に当社が有する臨床開発関連機能およびノウハウを生かし、複数のバイオシミラー医薬品開発の実績を有するKWB社と業務提携基本合意書を締結し、新たにバイオシミラー医薬品開発ビジネスを手掛けることといたしました。

本提携下では、両社それぞれが保有するバイオ医薬品開発にかかる経験やノウハウを共有し、またバイオシミラー医薬品の細胞株や製造プロセス等のCMC開発投資に関する費用を分担するなど、両社のリソースの有効活用及び開発負担をコントロールしながら新たなバイオシミラー医薬品開発を推進いたします。また、開発したCMCプロダクトは臨床開発や販売を担う製薬会社へのライセンスや譲渡、バイオシミラー医薬品開発支援業務を受託するなどによって収益を獲得するとともに、獲得した収益をKWB社とプロフィットシェアをしながら本ビジネスを推進してまいります。

### 2. バイオシミラービジネス参入の意義

当社がこれまでに取り組んでいる新薬開発は長期にわたって研究開発投資を行うハイリスク・ハイリターン型のビジネスモデルであり、当社ではこの事業に必要な研究開発資金を当社の抗体創薬プラットフォームを活かした安定的な収益を獲得する創薬支援事業とエクイティファイナンスを中心とした資金調達によって賄っております。当社の技術基盤を活かした創薬支援事業についてはこれまでに継続的にその取引規模を拡大してまいりましたが、一方、目下の株式市場の環境や長期金利の動向は不確実性を増すなど当社の資金調達環境が変化してきております。

バイオシミラー医薬品は社会保障費の適正化と医薬品の安定供給に向けて、厚生労働省によるバイオシミラーの普及目標の設定、バイオシミラーの使用促進に向けた診療報酬の新設等、その積極的な開発と普及が期待される薬剤であり、新薬開発よりも開発投資額が抑えられ成功確度が高く見込めるものであります。当社の新薬開発チームはバイオシミラー医薬品の開発・上市経験を有するメンバーが在籍しておりますが、バイオシミラービジネスで既に4製品の承認品目を有するKWB社との提携する

ことによって、当社は新たなバイオシミラー医薬品ビジネスに参入し、新薬開発と製薬会社の研究支援に続く第三の収益源創出、および社会課題の解決を行うことを目的としております。

### 3. 契約相手先の概要

(1) 名 称	キッズウェル・バイオ株式会社		
(2) 所 在 地	東京都中央区新川一丁目 2 番 12 号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 紅林 伸也		
(4) 事 業 内 容	医薬品等の研究開発・製造等		
(5) 資 本 金	2,036 百万円 (2024 年 3 月 31 日現在)		
(6) 設 立	2001 年 3 月 1 日		
(7) 大株主及び持株比率 (2024 年 3 月末現在)	ノーリツ鋼機株式会社		24.32%
	NANO MRNA 株式会社		2.56%
	野村信託銀行株式会社 (信託口 2052241)		1.85%
	JSR 株式会社		1.76%
	株式会社 NINE		1.72%
(8) 発行済株式数	38,939,913 株 (2024 年 3 月 31 日現在)		
(9) 上場会社と当該会社との 間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。	
(10) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態 (単位: 百万円)			
決 算 期	2022 年 3 月期	2023 年 3 月期	2024 年 3 月期
純 資 産	1,702	1,233	831
総 資 産	3,470	3,894	5,085
1 株 当 たり 純 資 産 (円)	48.30	32.36	21.35
売 上 収 益	1,569	2,776	2,431
営 業 利 益	△651	△550	△1,335
経 常 利 益	△968	△624	△1,389
当 期 純 利 益	△550	△657	△1,422
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	△17.86	△20.77	△40.23
1 株 当 たり 配 当 金	—	—	—

### 4. 今後の見通し

本件は当社の将来的な収益源の多角化・収益力の強化に寄与するものではありませんが、2024 年 12 月期業績に与える影響については軽微です。

以 上

〈バイオシミラー医薬品について〉

バイオシミラー医薬品は、既に承認・販売されているバイオ医薬品（先行バイオ医薬品）の特許期間・再審査期間満了後に、異なるメーカーから販売される、先行バイオ医薬品と同等／同質、安全性および有効性を有する医薬品です。バイオシミラー医薬品は、先行バイオ医薬品と品質特性に高い類似性を持つことが検証され、さらに非臨床・臨床試験によって、先行バイオ医薬品と同じ効能・効果、用法・用量で使える（＝同等／同質である）ことが確認された薬剤です。

バイオシミラー医薬品は、薬価は原則として先行バイオ医薬品の70%に設定されるため、患者さんの経済的負担や医療費の軽減が期待される薬剤です。

2024年6月18日

キッズウェル・バイオ株式会社

株式会社カイオム・バイオサイエンス

## バイオシミラーの共同開発に向けた業務提携契約の締結

キッズウェル・バイオ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 紅林 伸也。以下、「キッズウェル」）と株式会社カイオム・バイオサイエンス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 小林 茂。以下、「カイオム」）は、この度、両社のバイオ人材とバイオ医薬品開発ノウハウ・経験等を組み合わせ、新規バイオシミラー医薬品の共同開発等を推進することを目的に、業務提携契約（以下、「本契約」といいます。）を本日締結しましたのでお知らせいたします。

本契約の締結により、両社がそれぞれ保有するバイオ医薬品の開発にかかる経験・ノウハウ・人材等を組み合わせ、両社のリソースをより効率的に活用し、バイオシミラー医薬品の開発費用を分担することで資金負担を軽減・コントロールしながら、新規バイオシミラー医薬品の共同開発を推進します。また、両社の協業によって開発する細胞株や製造プロセス等の製薬企業等への導出または譲渡により得られる収益や、当該製薬企業等に対する開発支援等の業務提供により得た収益については、両社でプロフィットシェアし、新たな収益源としての確立を目指します。

医薬品産業においては、従来の化学合成により製造される低分子医薬品とは異なり、細胞やウイルス等によって医薬品を生産するバイオ技術の発展により、低分子医薬品では十分な治療が困難であった多くの疾患に対してバイオ医薬品が開発されています。一方で、日本国内の多くの製薬企業が、低分子医薬品の研究開発活動に経営資源を集中しバイオ医薬品への取り組みを後回しにした結果、国内におけるバイオ人材の育成やバイオ医薬品の開発ノウハウ・経験等の蓄積は遅れ、先行バイオ医薬品の多くは海外企業によって開発・製造されています。

このような事業環境において、両社は、創業以来バイオ医薬品の研究開発を推進し、それぞれの研究開発活動を通して、バイオ人材育成とバイオ医薬品開発ノウハウ等の蓄積に取り組んできました。また、国内バイオ医薬品産業が直面する問題を両社間で共有し、バイオ医薬品産業の発展に向けた課題について意見交換を進めてきました。今後、本契約に基づいて、バイオシミラー医薬品の共同開発を通じてお互いに対する理解を更に高めながら、双方のバイオ人材やバイオ医薬品開発ノウハウ等を有効活用し、バイオ医薬品産業における成功事例の創出と産業の発展に貢献する新たな取り組みを進めてまいります。

以上

### ■カイオムについて

株式会社カイオム・バイオサイエンスは、独自技術の ADLib<sup>®</sup>システムや Tribody<sup>™</sup>等の抗体作製技術を駆使して、医療のアンメットニーズの高い疾患に対する抗体医薬の開発候補品創出に取り組むバイオベンチャーです。自社創薬を手掛ける「創薬事業」と、製薬企業等に高品質な技術サービスを提供する「創薬支援事業」を展開しております。現在、「CBA-1205」「CBA-1535」の2つのがん治療用抗体の臨床第I相試験が進行しており、製薬企業へ医薬品候補をライセンスすることにより、新薬創出と大きな収益獲得を目指した事業を推進しております。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

株式会社カイオム・バイオサイエンス <https://www.chiome.co.jp/>

#### ■キッズウェルについて

キッズウェル・バイオ株式会社は、「バイオで価値を創造する-こども・家族・社会をつつむケアを目指して-」を企業理念に掲げ、既にバイオシミラー医薬品 4 製品を上市し安定的な収益基盤であるバイオシミラー事業と、臨床開発ステージに入り今後の飛躍的な成長基盤として期待される細胞治療事業（再生医療）を推進しています。病気に苦しむ患者さま、特に子供たちに、革新的な治療薬・治療法を提供し、明るく幸せに暮らすことができる社会の実現に貢献できるよう、日々研究開発活動に取り組んでおります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

キッズウェル・バイオ株式会社 <https://www.kidswellbio.com/>

#### ◆本件に関するお問い合わせ先

株式会社カイコム・バイオサイエンス IR 担当 email: [ir@chiome.co.jp](mailto:ir@chiome.co.jp)

キッズウェル・バイオ株式会社 経営企画部 email: [info@kidswellbio.com](mailto:info@kidswellbio.com)